

例2：「教師との会話」

会話活動

標準

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	6	6	-	-	-

背景

- ・ テーマはテスト二週間前に生徒に知らせ、短いスピーチの後、それについての質疑応答がその場でなされることを伝えた。生徒はテスト前四週間に渡って同テーマについて学んだ。
- ・ (スピーチの下準備の段階で) 生徒は教師に言葉についてアドバイスを受ける機会を与えられたが、その際教師は間違いを指摘するだけに留めた。
- ・ 他の生徒は教室外に退出し、評価される生徒と教師のみが教室に残ってテストが行われた。これは雑音と外部からの干渉を最小限に留めるためである。
- ・ この課題は基準A及び基準Bの中で評価してある。

評価

基準A 内容と情報交換

最高レベル8

この作品がレベル6を得た理由は以下の通りである。

- ・ 情報を適確に伝えているが、より複雑な内容になると少し戸惑っている。
- ・ 内容はテーマに沿っているが、詳細さに欠ける。意見は理由付けができていない。
- ・ 会話に積極的に参加し、会話の流れを保っている。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- ・ もっと複雑な内容を話す。テーマが前もって知らされているという甘い条件の下でこの会話は行なわれているので、もっと詳しい内容の応答が期待される。

基準B 表現と言語使用

最高レベル8

この作品がレベル6を得た理由は以下の通りである。

- ・ 発音や抑揚がとても良い。
- ・ 多種の語彙や文法事項を適切に使っている。
- ・ いくつか間違いがあるが、話の流れに影響はない。
- ・ 正しい言葉遣いである。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- ・ 慣用句を使おうと試みる。
- ・ 準備済みのスピーチと同程度の語彙や文法事項を使う。